

11月の動き

プチ就労開拓・推進分野の状況

■自治体（他地域）への事業紹介活動（担当：遠座）

11月は、大阪ガス本社ホールにて「健康・生きがい就労活動」をテーマにしたシンポジウムがあり、私たちの活動を後押ししていただきました。また、新たに地域コミュニティでのスマホ講座も始まりました。

◆11月2日（火）に、大阪ガス主催、大阪大学共催で高齢者の健康・生きがい就労を趣旨とした「高齢者が地域の支え手側に回る四方良しのまちづくりシンポジウム」がありました。（遠座基調講演、井川パネラー参加）。厚労省、大阪府、大阪市や京都市など16自治体、各地域の社協・NPO、ほか筑波大学などから計60余名の参加がありました。（詳細は、以下の大阪ガスエネルギー・文化研究所のホームページ

https://www.og-cel.jp/info_new/1301644_46968.html

の活動報告をご覧ください。



◆大阪府大東市高齢介護室から、来年度の健康・生きがい就労トライアル実施に向け1月からの活動依頼（委託）が正式にありました。

◆11月9日（火）には、宝塚市縁卓会議市民コアメンバーで山崎市長と面談。健康・生きがい就労部会からNPOが生まれたことに市長から感嘆の声。特に市長の母親を例に、行政のデジタル化に伴うデジタル格差解消に向けた地域のスマホ講座展開に期待を寄せられました。

◆11月16日（火）には、兵庫県生きがいサポートセンター播磨からの依頼で明石市「ウィズあかし」で「健康・生きがい就労トライアル 高齢者の活動をサポートする仕組みづくり」を講演（90分）しました。明石市産業政策課商工係長にも聴講していただきました。

◆11月27日から宝塚市のすみれが丘地区（住民7千人）で地元の方々がチューター（講座サポーター）になる高齢初心者向けスマホ講座を開始。宝塚市立老人福祉センターでも来年度に向け、スマホ講座の充実やまちづくり協議会と連携し、地域のスマホ活用を促進していく試みが議題に上がっています。今後、社会全体がデジタル化していくため、「スマホが使えないことは高齢者の生存権に関わる問題だ」という意見もあります。

◆講演依頼

・12月11日（土）宝塚市地域福祉課からの依頼で、づか塾（シニアの地域デビュー応援講座 at 市立老人福祉センター）で講演予定「長寿社会の歩き方～情けはひとのためならず」（55分）

・12月15日（水）大阪府福祉部高齢介護室からの依頼で令和3年度地域包括ケアシステム充実強化研修”（at 大阪赤十字会館）にて「健康・生きがい就労トライアル～高齢者の社会参加に向けて～」と題して基調講演（60分）

・3月17日（木）大東市役所高齢介護室から 大東市民会館にて市民向けの講演会実施の依頼。

◆スマホ講座：基礎編、応用編を1～3月で受託

宝塚NPOセンターからの紹介で、兵庫県伊丹市教育委員会生涯学習部から中央公民館で行うスマホ講座：基礎編、応用編を1～3月で受託。打ち合わせや資料作りも進んでいます。

啓発・研修事業分野

■「初めての人向けスマホ講座 Android 編他」（担当：山口）

「初めての人向けスマホ講座～Android編～第3回目の「初めての人向けスマホ講座～Android編」を2日、11日、18日の3日間フレミラ宝塚で実施しました。

素敵なエピソードがあったのでご紹介します。今までスマホをあまり活用されずにいた参加者さん。「なんとかお母さんにスマホを活用してほしい」と遠くのお嬢さんが私たちのことをFacebookで知り、申し込んでくださいました。抽選にも運よく当選。でもご本人は、「スマホなんて…」と、しぶしぶ参加。しかし、私たちの講座で、遠くのお嬢さん方とLINEで繋がり、大喜び。早速、写真を撮って送付。即、返信とLINEを楽しめるようになり、「講座に参加して本当によかった」と。こんなエピソードが、我々スタッフの原動力です。また、「初めての人向けスマホ講座～Android編～ステップアップ講座」では、先月の21日に続いて2日、18日開催しました。Googleレンズの更なる活用と撮影データの編集体験に続いてグループLINE。加えて、初めてのzoomで、テレビ電話体験をして楽しんでいただきました。12月2日は、中山寺での野外実習を予定しています。

さらに、コミュニティすみれ主催で、「高齢者のためのスマホ講座（全2回）第1日目を27日にラピスタ宝塚のコミュニティ管理センターで実施。

基本操作から、スクリーンショット、カメラ機能などを実習。地域の方々が、サポーターとしてお手伝いくださいました。



